

# 平成30年度石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

## 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

### 第9回、第10回研修会

- 日時 平成30年11月5日（月）、6日（火）  
9：30～16：40
- 場所 石巻市立中津山第二小学校、石巻市立桃生中学校
- 講師 広島大学大学院 教授 栗原慎二 先生

#### ☆研修内容

- 5日：授業参観、  
モデル校へのコンサルテーション
- 6日午前：交流分析によるコミュニケーション分析
- 6日午後：アセスを用いた校内研修の進め方



中津山第二小学校では、ピア・サポートとして行事の振り返りに異学年へのメッセージを廊下いっぱいに掲示し、保護者の方にも見ていただいています。



学級目標にリンクさせたPBI Sの例。達成したものはシールをつけ、「見える化」しています。

#### <モデル校・協力校の先生方の声>

- ◇ 栗原先生に直接質問することができ、今後の研究の方針を定めることができた。
- ◇ 授業づくりや教師の学習の進め方、協同学習等の面では、課題が示されたので、今後取り組んでいきたい。
- ◇ 各校での取組に触れること、共に目指す方向を理解し合えたことで、後半の話合いが盛り上がった。桃生地区としてこれから何をしなくてはならないのか、目標と現状の差が意識できたのではないかと思います。
- ◇ 自校の課題が他校でも同様に課題となっていることを知り、学校間で連携を図りながら解決していくことが大事だと感じた。取組が進むほど、課題が見えてくると思った。まずは取り組んでいくことが重要だと感じた。



#### <受講者の声>

- ◇ 子どもに対しての禁止令やドライバーから学ぶこともたくさんあった。特に不登校の子どもへの対応についても、「行動」を変えるのではなく、「認知」を変えるこということを意識して取り組んでいきたいと思った。
- ◇ エゴグラムは初めて取り組んだが、自分自身を見つめ直すだけでなく、学級づくりにもとても有効になるということを感じた。
- ◇ 「認知が行動を決めていく」という話は、とても納得した。認知のゆがみを直していくというのも、教師側がこのことをよく理解して取り組まなければならないと思った。
- ◇ 自分本位の見立てだけでなく、職員室内などでも雑談から始めて気軽に話題に出しながら、早期発見して早期対応できるようにしていきたい。
- ◇ アセスを実施しても活用しきれていなかったと実感した。実施の目的、活用の仕方を再確認し、校内で共有して取り組みたい。